第８回　中板橋駅周辺地区まちづくり協議会　議事要旨

開催日時　　：令和８年８月２７日（木） 19:00～20:40
会　　場　　：仲町地域センター　第１洋室
参 加 者　　：委員　11 名
事 務 局　　：板橋区まちづくり推進室鉄道立体化推進課　６名
事務局補助　：株式会社日本インシーク　３名
傍 聴 者　　：１名

１．開会

２．会長あいさつ

〔会長〕

本日は大変お忙しい中、第８回中板橋駅周辺地区まちづくり協議会にご参加いただき、感謝申し上げる。

６月、７月に開催された分科会では、まちづくりマスタープラン基本構想案の内容や方針について、様々な意見を交換していただいた。

今回の協議会では、分科会で出た意見を報告いただき、内容の検討を行う。

また、現場見学会の実施や今後のスケジュールについても確認を行う。

委員の皆様におかれては活発な意見交換を通し、実りある検討をしていただきたいと思う。よろしくお願い申し上げる。

３．議事

議題
（１）今回の内容と今後のスケジュール（案）について
（２）第７回協議会の振り返り
（３）分科会の報告
（４）ワークショップ：テーマ別のまちづくり方針の検討
（５）現場見学会の開催に向けて
（６）その他

（１）今回の内容と今後のスケジュール（案）について
（２）第７回協議会の振り返り
（３）分科会の報告
（４）ワークショップ：テーマ別のまちづくり方針の検討

＜（株）日本インシークより資料１、２について説明＞

＜全体ワークショップを実施＞

【検討】「テーマ別のまちづくりの方針と提言、方針図」

〔㈱日本インシーク〕

・前回までの分科会の内容をマスタープランたたき台に反映させたが、前回までの分科会にて記載していた具体的な取組例について、テーマ１道路・交通の欄は個別具体的な内容が多くなってしまうため、削除させていただければと考えている。

〔委　員〕

・土曜日（22 日）の集中豪雨では、家の近くのマンホールが冠水し、道路に水があふれ、それをきっかけに、石神井川の氾濫についてはよく議論されているが、雨水については議論できていないと思った。

・雨水出水ハザードマップも加味して、見直した方がよい点や、危ない地域があるのかを検討した方がよいと思う。

〔㈱日本インシーク〕

・非常にタイムリーなご意見である。最近ニュース等で内水という言葉を聞くことがあるかと思うが、内水・外水という用語があり、外水氾濫は川からあふれる水で、内水氾濫は低いところに雨水がたまるようなことを指す。

・内水について検討が必要ということであれば、ハザードマップ等を区に提供していただき、安心・安全のテーマの中で今後議論できればと思う。

〔事務局〕

・ハザードマップは、皆様のお宅に配布している便利帳に掲載している他、区ホームページにも掲載している。

・次回分科会ではハザードマップを用意させていただく。

〔委　員〕

・先日の豪雨では、膝までつかるほど水がたまり、乗り入れステップも流された。

・今まで河川の氾濫しか注意していなかったが、雨水出水ハザードマップを確認したところ床上浸水の恐れがあることがわかったので、その辺りを少し方針図に反映できればと思う。

〔委　員〕

・今回の豪雨について、区や地域センター、警察署から連絡はなかったのか。

〔事務局〕

・今回の集中豪雨は瞬間的なもので、事前に予想ができなかった。時間雨量 100㎜ を超える降雨は稀である。ただ、今後は増えていく可能性もあるため、皆様にも知識を持っていただければと思う。

・集中豪雨については、その時の雨雲レーダーを見ていないと、瞬時に発表ができない。

・警報は実際に降った雨の量で発令されるため、事前の連絡は難しい。

〔委　員〕

・住民の方々は、今回のような豪雨が発生した時に、どこに連絡すべきか把握していないのではないか。

〔事務局〕
・今回の集中豪雨は、土曜日の 16 時～17 時頃に発生した。災害の発生時には、区の職員は基本的に出勤しておらず、警報等の発令後に危機管理部や各土木事務所の職員が事務所に駆けつけ、巡回を行うなど、発生した問題に対処していくことになる。
・災害時の連絡先について、まずは消防・警察に連絡をしていただきたい。消防・警察から区へ共有していただく。
・東京都下水道局の下水道管の能力は、基本的に 1 時間に 50㎜ となっている。能力を高めたいという想いはあるが、既存の下水管をさらに太いものに更新する必要があるなど、全ての下水道管の能力を高めることは難しい。
・先日の豪雨で、この地域では時間雨量 80㎜ の降雨が観測された。そうなると下水道管の処理能力を超えているため、確実に道路に水が溜まっていくことになる。
・皆様も、時間雨量が 50㎜ を超えた際には、道路が冠水する可能性を意識していただければと思う。
〔委　員〕
・今回の豪雨は想定外の降雨量であったが、普段の大雨でも石神井川の水位がかなり高くなることがある。整備中の調節池は、効果を期待できるのか。
〔事務局〕
・中板橋の上流側に位置する城北中央公園では、大規模な調節池を整備しており、現在は、２機整備予定の調節池のうち、１機が完成した段階であり、効果が期待できる。
〔事務局〕
・道路に降った雨水については、雨水枡の排水能力を高めるために、枡の蓋を穴が小さいものから、グレーチング蓋に交換することは可能であるが、デメリットとして、下水道の臭いが上がってくることがある。
〔委　員〕
・たまった雨水は、どのように排水しているのか。
〔事務局〕
・道路にたまった雨水は基本的に直接下水道管に流入している。そのため、雨水枡の蓋等を交換した場合でも、下水道管がいっぱいになると逆流してしまう。
・勢いよくマンホールの蓋が噴き上がる映像等があるかと思うが、多くの場合、水ではなく、圧縮された空気が原因となっている。
・普段、下水道管を流れている水は少量で、管の中は大半が空気である。そこに大量の水が流れ込み、空気が圧縮されることでマンホールの蓋が噴き上がる。
〔委　員〕
・調節池の耐震性は大丈夫か。
〔事務局〕
・東京都の工事のため詳細は分かりかねるが、耐震性等を考慮して設計していると思う。

〔委　員〕
・先日の豪雨でも、石神井川の水位が一気に上がった。直接様子を見に行くのは危険なので、カメラ等で確認する必要がある。
〔事務局〕
・板橋区気象観測システムでは、誰もが河川のライブカメラや雨量等を確認できる。
〔委　員〕
・今回の豪雨で、中板橋駅周辺では大きな被害は発生していないか。
〔事務局〕
・防災の担当に確認する必要はあるが、高島平のような大きな被害の報告は受けていないと思う。
〔㈱日本インシーク〕
・皆様の意見を踏まえて、次回の分科会では、ハザードマップや連絡体制、排水・浸透機能等について検討を行い、方針や方針図に反映できるものがあれば、反映していければと思う。
〔委　員〕
・この地域は、石神井川が昔から流れており、周辺の地盤は石神井川の流れを変える際に埋め立てて道路や建物を築造したため、地盤が軟弱である。大山駅や上板橋駅の周辺はそれなりに地盤が強固で、タワーマンションを建てても問題ないと思うが、中板橋駅周辺で、仮に再開発が行われ、タワーマンションが建つと大変だと思う。大地震が起きた際に、誰が安全を保障するのか。
・また、もし仮に鉄道や駅舎を高架化した場合に地盤に問題は無いのか。その辺の調査は実施されているのか。
〔事務局〕
・現在、中板橋駅周辺に何かを建設する計画は特にないため、調査等も実施されていない。
・中板橋駅周辺の地盤について、心配があるかもしれないが、何かを建てる際には、必ず地盤の調査を行うとともに、地盤の状況に応じた必要な基礎の深さ等を計算し、構造物をつくることになる。
〔委　員〕
・今の意見は非常に貴重な意見だと思う。安心・安全なまちづくりには、リスクが伴う。高層マンションを建てればよいわけではなく、建てることで利害を受ける人も出てくる。
・石神井川に近い中板橋や双葉町は、杉の木を埋めて土壌を作っており、ビルを建てることが難しいと昔聞いた。
・どのような建物がよいか、どの程度の高さにするか等具体的な内容を検討していくのは、この先の課題だと思う。
・全員が賛成の計画はあり得ないと思うが、可能な限り多くの人に同意してもらうことが一番大事なので、皆様にも意見をどんどん出していただき、区には、それを踏まえて真剣に検討いただくことで、よいまちづくりになると思う。

〔㈱日本インシーク〕
・この協議会では、その段階に進んでいないが、何か具体化する時には、真剣に検討していく必要があるため、その際には改めて考えていただければと思う。
〔委　員〕
・コミュニティバスは商店街の道路幅員的には、難しいと思う。役所で実現可能性を調査して欲しい。
〔委　員〕
・建物を建て替える際に商店街をセットバックする等のルールを作れば幅員を確保することができると思う。
〔㈱日本インシーク〕
・現在のマスタープランたたき台には、公共交通の充実に向けた具体的な取組として、「商店街の活性化やにぎわい・道路環境への配慮」と記載している。
・ご意見のとおり、バスを通すことで歩行者が商店街を通る必要性がなくなり、商店街が衰退することは防ぐ必要がある一方で、バスはあると便利とのご意見もあったため、現在の表現となっている。
・他の部分も含めて、実現性のみを考えると、難しそうな内容は多々あるかと思うが、20 年後、30 年後にこんなまちになっていたらよいという皆様の想いをまずはマスタープランにとりまとめ、区に提案していただき、それを受けて、行政や地域の皆様等で、具体化に向けた検討を行っていくことになる。
・結果として実現が難しい部分が出てくるかもしれないが、何とか実現できることも出てくると思う。
・それらは、将来の話で、今はそこまで具体的なことを議論する段階ではないため、皆様の夢や将来の想いをマスタープランに入れていただきたい。
・今後、具体化の段階で、皆様で知恵を出し合い、よりよい方法を考えていただければと思う。
〔委　員〕
・この場では、様々なご意見を出していただき、具体化に向けた検討は、今後、次の段階で役所とも相談しながら、協議していければと思う。
〔委　員〕
・具体的な取組例にある中板橋駅の橋上駅舎化やバリアフリー化は個人的には残していただきたい。
・橋上駅舎化ができれば、踏切待ち等はとりあえず多少改善できる。選択肢を複数残しておいた方がよいと思う。
〔㈱日本インシーク〕
・見学会の結果を踏まえて、引き続き分科会で検討させていただく。
・その他の意見はいかがか。
〔委　員〕
・大体の意見が反映されていると思う。特に追加意見はない。
〔委　員〕
・中板橋駅周辺で地震が発生した際に、帰宅困難者等を管理できるスペースが十

分にあるのか心配である。

〔事務局〕

・実際に地震が発生した際に、帰宅困難者等全員を収容できるかという問題はあるが、災害発生時に区施設を避難場所として開放して等いる。

〔㈱日本インシーク〕

・一般的には、帰宅困難者等の人数をシミュレーションした上で、避難施設等を設定している。

〔事務局〕

・一時避難所としている公園や、本設避難所としている区の施設などがあり、避難場所について、一度、ご家族等でご確認いただければと思う。

〔委　員〕

・町会と商店街で協定を結び、町内の居住者を対象に、商店街会館を一時的な避難場所として提供している。

・このように、地元は地元で、できることをやっていく必要がある。

〔㈱日本インシーク〕

・民間の避難施設のお話は大変貴重な意見だと思うので、分科会で話題に出していただき、具体的な取組例への記載等を検討できればと思う。

〔㈱日本インシークより総括〕

今回の協議会でいただいたご意見を踏まえて、次回の分科会や、その後の第９回協議会で検討を行っていく。

（５）現場見学会の開催に向けて

＜事務局より資料１、補足資料について説明＞

〔事務局〕

・現場見学会の見学地について、前回の協議会において鉄道立体化に関する事例を見学したいと要望があったため、今回、資料１記載の３駅（石神井公園駅、練馬高野台駅、中村橋駅）候補としてあげさせていただいた。

３駅を見学することでよろしいか。

＜委員一同賛成＞

４．閉会